

玉村町教育委員会点検・評価報告書【概要版】令和4年度対象

＜学校教育のめざす子供像＞

確かな力を身に付け 心豊かに たくましく生きぬく子供
～幼小中12年間を見通した学校教育の充実～

重点1 「自立する力」と「共生する力」を育む教育活動の充実

＜個別最適な学びと協働的な学びの推進＞＜ICT端末活用と英語教育＞

一人一台のICT端末やネットワーク環境を活用し、多様な相手とコミュニケーションを図る機会を設定しました。また、英語教育については、県立女子大学生やフェリーチェ玉村国際小学校の子供といった英語を得意とする方々に協力していただき、各学校と連携した授業を実施するなど、新たな英語交流の機会を増やすことができました。



＜絆づくり、居場所づくりの支援＞＜いじめ防止に向けた取組＞

「いじめのない学校+α」をテーマとし、小中学校の代表16名で子ども会議を実施しました。校内での身近なトラブルを例に挙げ、問題点や解決策をグループごとに考える活動とおして、各学校のいじめ防止活動について考える機会となりました。



重点2 地域とともにある学校づくり 「グローバル人材の育成」

＜子ども議会の開催＞

各小中学校から2名ずつ子ども議員を選出し、役場各課長に一般質問をしました。今年度は、玉村町の現状を聞くだけでなく、どうしたらよりよい玉村町になるかを、子どもたちの視点から考えた提案型の質問をしました。子どもたちの真剣な姿から、未来へつながる素晴らしい子ども議会となりました。



＜運動部活動の地域移行＞

両中学校ソフトテニス部の休日の指導を、玉村町ソフトテニスクラブの協力をいただき、地域によるクラブ活動を実施しました。

部活動による教職員の多忙化の解消及び、運営団体、地域人材の確保や費用負担などについての今後の在り方を検討するためのモデルケースとなりました。



重点3 教育環境の充実・整備 「学びを支える人材・環境の整備」

＜栄養教諭や地域人材を活用した食育の推進＞

給食時間における食に関する指導を直接行うことが困難な状況が続く中、児童生徒が給食時間を楽しみながら過ごせるよう学年に応じた内容の動画を作成しました。また、給食が生きた教材となるよう調理の様子をYouTubeでアップし、給食時間に学校で視聴し、活用できるようにしました。センターの機能と役割を多くの方に知ってもらえる機会にもなりました。



＜令和4年度 教育行政方針＞

夢叶える教育のまち たまむら

令和4年度 玉村町の教育 玉村町教育委員会
(教育行政方針)

教育の原点を見つめ、本質を見極めた改革

セルフマネジメント力 → 『自立』 → 自己実現
(自己を見つめ、夢や目標を持ち、実現に向けて行動する力) → 『共生』

＜学校教育の重点＞
幼小中12年間を見通した学校教育の充実

＜生涯学習の重点＞
生きがいと絆をつくる生涯学習の推進

＜目指す子供像＞
確かな力を身に付け 心豊かに たくましく 生きぬく子供

＜目指す人間像＞
学ぶ喜びを味わい 自己を磨き 豊かに 生きようとする人

＜第6次総合計画＞
目指す将来像 暮らすなら、ここがいい
教育に関する重点目標 「わぞわい」から生命と財産をまもる 子どもを育て未来をつくる
元気に年を重ねられる町をつくる たまむらの良さを次世代につなぐ

＜玉村町教育大綱・玉村町教育振興基本計画＞
基本理念
○ 全ての市民が夢と希望をもって理想を追求することができるよう、社会の変化に対応した教育を実施する。
○ 家庭・学校・地域がそれぞれの役割を果たし、相互に連携・協働した教育を実施する。
基本方針
全ての教育(家庭教育・学校教育・社会教育等を含む)において
○ 「生きる力」を育み、社会の変化に主体的に対応できる人を育成する。
○ 一人一人が生涯活躍できるよう、自己を磨き、共に学ぶ環境をつくる。

＜1年間の点検・評価の流れ＞

1学期

- ・年度始学校園訪問
- ・社会教育委員会、企画展

2学期

- ・教職員研修会、要請訪問
- ・特別展

3学期

- ・年度末学校園訪問、ミニ企画展
- ・自己評価、外部評価、令和5年度教育行政方針策定



＜生涯教育のめざす人間像＞

学ぶ喜びを味わい 自己を磨き 豊かに生きようとする人
～生きがいと絆をつくる生涯学習の推進～

重点1 生涯学習の推進 ＜防災を考える避難所運営ゲーム＞

生涯学習推進員研修会で、「避難所運営ゲーム」を実施しました。カードに書かれたイベントをグループメンバーで話し合いながら問題解決をしていくゲーム形式の研修です。学校に避難所を開設した設定で、実際の避難所での状況を想定しながらの展開に、参加した推進員もうまく協力しながらゲームを進行していました。



重点2 公民館講座の充実 ＜「たまりん☆バスキッズ」の実施＞

少年少女教室の一つとして、「たまりん☆バスキッズ」を実施しました。玉村町の乗合タクシー「たまりん」と高崎市の市内循環バス「ぐるりん」の路線経路図と時刻表を使って、玉村町文化センターから高崎市内の公園までの行程表を作成し、実際に公園まで行きました。



重点3 文化財・地域資源活用の推進 ＜ミニ企画展「昔の道具展」＞

小学校3年生の社会科授業「古い道具と昔の暮らし」と連携した展示です。今回の展示テーマは「すごいぜ！昔の道具たち」です。管内小学校の3年生が見学し、学習の一端を担うことができました。児童たちは昔の道具を観察し、気になった道具をスケッチしました。また、関連行事の街頭紙芝居体験も好評でした。



重点4 図書館に親しむ機会の提供 ＜季節の読み聞かせ会＞

図書館ボランティア等による、季節にちなんだ絵本や紙芝居の読み聞かせ会を開催しました。春、夏、冬は集会室で、秋は文化センターまつりにあわせ1階のラウンジで実施し、賑やかな雰囲気の中、多くの来館者に観覧いただきました。館内読み聞かせ(毎水・土曜日の読み聞かせ)は、10月から再開しました。



重点5 生涯スポーツの推進 ＜社会体育館リニューアルイベント＞

令和4年4月にリニューアルオープンした社会体育館をより多くの方に見てもらおう事・体験してもらおう事を目的としたイベントを開催しました。バスケットボールクリニックや、体操教室、高校生以上を対象とした簡単なトレーニング指導を行いました。また、社会体育館グラウンドでは、誰でも参加出来るニュースポーツ体験コーナーとして「モルック」「スナッグゴルフ」「ラダーゲッター」の3種目が行われました。

